

2025年度 にいみ子育てカレッジ 子育て支援者に対する研修

参加費無料
要予約

どなたでも
ご参加いただけます

地域のすべての方々(高校生以上)がご参加いただける研修です。
子育て支援に関する様々な領域のお話が満載です！みなさま、お気軽にご参加ください！

会場 NiU新見駅西サテライト **時間** 18:30～19:30 **締切** 各日程の1週間前まで

*コース欄の○数字は保育専門職向けの内容となっておりますが、関心のある方はどなたでもご参加ください。

コース	日 程	テ ー マ	講 師
1	7月30日(水)	ぜひ知っておきたい！発達障害や就学後のメンタルヘルス不調(心身症や不登校など)の とらえ方・かかわり方	井上 真一郎 (新見公立大学看護学科)
2	8月7日(木)	保育現場で活用できる身体表現 ～新しい経験が作り出す相互作用とは～ ※持ち物:動きやすい服装、汗拭き用タオル、水分	福武 幸世 (新見公立大学健康保育学科)
③	8月29日(金)	子どもも私も楽しい保育 —子どもと保育者の相互主体性に着目して—	松島 英恵 (新見公立大学健康保育学科)
4	9月4日(木)	幼児の発達と関わりのポイント —1歳児の体の発達に焦点をあてて—	入江 慶太 (新見公立大学健康保育学科)
⑤	9月10日(水)	だれもが安心して学べる教室をめざして: 合理的配慮の基本とヒント	高橋 彩 (岡山大学教育学部) (新見公立大学健康保育学科)
6	9月19日(金)	子どもの生きる力を考える	芝崎 美和 (新見公立大学健康保育学科)
⑦	10月2日(木)	幼児のリトミック	竹下 可奈子 (新見公立大学健康保育学科)
8	10月15日(水)	発達障害とは？ ※「特別支援教育に関する研修講座」①の講座です	岡本 邦広 (新見公立大学健康保育学科)
9	10月24日(金)	英語の絵本を読んでみましょう1	山内 圭 (新見公立大学地域福祉学科)
10	11月7日(金)	子どもとメディア	金山 時恵 (新見公立大学看護学科)
11	11月21日(金)	どう伝えたらいい？こどもの性教育	川下 菜穂子 (新見公立大学看護学科)
12	11月27日(木)	地域の子育て負担感を把握する項目を みんなで考えてみましょう	高橋 順一 (新見公立大学地域福祉学科)
13	12月5日(金)	歴史の視点から考えるインクルーシブ教育	立浪 朋子 (新見公立大学健康保育学科)
14	12月10日(水)	英語の絵本を読んでみましょう2	山内 圭 (新見公立大学地域福祉学科)

—お申込方法・お問合せ—

【にいみ子育てカレッジ事務局(新見公立大学内)】

〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2

TEL:0867-72-0634

FAX:0867-72-1492

E-mail:kosodate@niimi-u.ac.jp

にこたん



お申し込みはこちら



裏面のFAX申込書または二次元コードからお申し込みください

FAX申込用紙 0867-72-1492 (締切:各日程の1週間前まで)

2025年度にいみ子育てカレッジ「子育て支援者に対する研修」申込書

【お申込者情報】 *ご記入いただいた個人情報は本研修の受付登録および必要なご連絡のみに使用し、その他の目的で使用することはありません。 申込日:令和 年 月 日

フリガナ		申込者区分	所属
氏名		・一般 ・専門職(職種:)	
住所	〒	連絡先()	—
		E-mail:	

●希望される研修の各『参加希望』欄に○を記入してください ●申し込み後に欠席される場合には、その旨をご連絡ください。(連絡先:0867-72-0634)

1	7月30日 (水)	ぜひ知っておきたい！発達障害や就学後のメンタルヘルス不調(心身症や不登校など)のとらえ方・かかわり方	参加希望	8	10月15日 (水)	発達障害とは？	参加希望
	この講座では、精神科の専門医が、こどもにみられる発達障害や心身症、不登校などについて、その内容だけでなくとらえ方やかかわり方などをわかりやすく解説します。周りのとらえ方やかかわり方が変われば、本人も良い方向に変わってきます！ぜひ受講してみてください。				特別支援教育制度が開始して18年目になり、発達障害に対する理解が推進される一方で、発達障害のある児童生徒の教育を行ううえで課題が指摘されています。そこで、本講座では改めて発達障害とはどのような障害なのか、また教育を推進するうえでどのような課題があるかを考えていきます。		
2	8月7日 (木)	保育現場で活用できる身体表現～新しい経験が作り出す相互作用とは～	参加希望	9	10月24日 (金)	英語の絵本を読んでみましょう1	参加希望
	子どもは遊びを通して多様な身体感覚を身に付け、運動技能が発達します。特に、まねっこ(模倣)や変身など、なりきって遊ぶことで心も発達していきます。様々な身体表現を経験することで、保育者や友達とより良い関係を作り出していきます。今回は保育現場で活用できる身体表現の世界を体験していただきたいと思います。				この講座では、英語で書かれた絵本を紹介しながら一緒に読んでいきたいと思っています。英語が得意でない方も、どうぞ安心して受講ください。		
③	8月29日 (金)	子どもも私も楽しい保育 —子どもと保育者の相互主体性に着目して—	参加希望	10	11月7日 (金)	子どもとメディア	参加希望
	保育後に「もうすこし子どもたちに援助すればもっと遊びが盛り上がったかなあ」「私の思いで引っ張りすぎたなあ」とモヤモヤ振り返ることがあります。子どもの主体性のみを尊重すると「放任」に、保育者の主体性が強すぎると「させる保育」につながることはわかっていても、ちょうどいい援助がなかなか掴めなくて悩みます。子どもと保育者が相互に影響を与え合いながら変容していく「相互主体性」に着目して、「子どもも私も楽しい保育」について考えてみたいと思います。				電子メディアとの接触が当たり前の時代となりました。改めてメディアが子どもに与える影響を考え、より良い付き合い方について知恵や体験を共有していきたいと思っています。		
4	9月4日 (木)	幼児の発達と関わりのポイント —1歳児の体の発達に焦点を当てて—	参加希望	11	11月21日 (金)	どう伝えたらいい？こどもの性教育	参加希望
	1歳児の体の発達に焦点を当てて、発達に応じた関わりのポイントを保育の視点から解説します。				幼い頃から繰り返し伝え続けるといいと言われる性教育。幼児期の子どもたちには何を、どんな言葉で伝えたら良いのでしょうか。ディスカッション形式で一緒に考えてみましょう。		
⑤	9月10日 (水)	だれもが安心して学べる教室をめざして： 合理的配慮の基本とヒント	参加希望	12	11月27日 (木)	地域の子育て負担感を把握する項目を みんなで考えてみましょう	参加希望
	最近、教育現場でもよく聞くようになった「合理的配慮」という言葉。本研修では、合理的配慮とは何か、その基本的な考え方と、日々の教育活動の中でどのように実践できるかについてお話したいと思っています。だれもが安心して学べる教室づくりのヒントになれば良いなと思っています。				まず、国や自治体で、どのように地域の子育て負担の度合いが把握されているのかについて、こども家庭庁などの評価指標群や、調査項目、子育て負担感の尺度などをご覧ください。次いで、それらでどのように、原因や支援の効果、地域差の把握ができるかを簡単に学んでいただきます。最後に、評価指標群に大切なものが入っているかご確認いただきながら、地域の子育て負担感などを把握する簡易なミニ調査票案を、楽しく一緒に作ってみたいと考えております。		
6	9月19日 (金)	子どもの生きる力を考える	参加希望	13	12月5日 (金)	歴史の視点から考える インクルーシブ教育	参加希望
	しなやかに、たくましく生きていくために、子ども達は何を心の拠り所としているのでしょうか。乳幼児期における大人との愛情に満ちた関係が、子どもの生きる力をいかに育むかについて、一緒に考えてみませんか。				インクルーシブ教育の理念について、歴史のトピックを題材に考えたいと思います。たとえば、どのくらいの頻度で入浴をすれば「清潔」なのでしょうか。毎日でしょうか。いつの時代に、誰が、どのような理由で決めたのでしょうか。日本だけでしょうか。海外ではどうなのでしょう。自分とは異なる価値観や正義を尊重するとはどういうことなのか。歴史の視点からインクルーシブ教育を再考したいと思います。		
⑦	10月2日 (木)	幼児のリトミック	参加希望	14	12月10日 (水)	英語の絵本を読んでみましょう2	参加希望
	リトミックは音楽をよく聴いて、様々な音楽の要素を身体の動きで表現する活動です。感じたことを身体全体であらわす楽しさを実感できます。幼児向けのリトミックを、ぜひ一緒に体験してみましょう。				この講座では、英語で書かれた絵本を紹介しながら一緒に読んでいきたいと思っています。英語が得意でない方も、どうぞ安心して受講ください。		